

筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類

令和元年度 帰国生徒特別入試  
(10 月入学)

College of International Studies

School of Social and International Studies

University of Tsukuba

小論文問題

**【注意事項】**

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 試験時間は 120 分です。
3. 解答用紙と下書き用紙の定められた欄に、「学群・学類」、「氏名」、「受験番号」を記入してください。
4. 問題は 2 問あります。  
問題Ⅰはマス目の用紙に、問題Ⅱは罫線の用紙に解答しなさい。

## 問題I

以下の文章を読んで、シェア社会についてのあなたの考えを日本語600字以内で述べなさい。

シェア社会とは、モノやサービス、スキルなどを共有し、互いに助け合っていく社会のことです。最近、シェアリングエコノミーと呼ばれるビジネスモデルが注目されています。これは、個人が所有しているモノやサービス、スキルなどをインターネットを通じて共有し、他の人々に提供することで収益を得る仕組みです。例えば、シェアリングカー、シェアリングオフィス、シェアリングキッチンなどが挙げられます。シェア社会は、環境に優しい、経済的に持続可能な、そして人々を結びつける社会であると考えられています。しかし、シェア社会には課題も存在します。例えば、個人情報の保護、労働者の権利、そして競争の公平性などが課題として挙げられます。シェア社会は、私たちの生活に大きな変化をもたらす可能性があります。私たちは、シェア社会のメリットとデメリットを理解し、持続可能な社会を実現するために努力する必要があります。



出典：村山恵一、Deep Insight、オピニオン、『日本経済新聞』2019年6月6日

## 問題Ⅱ

Read the following passage and state your opinion on the effects of globalization in approximately 450 words in English.

The passage is extremely blurry and illegible. It appears to be a multi-paragraph text discussing the effects of globalization, but the specific content cannot be transcribed. The text is too faded to read accurately.

出典 : Ian Goldin and Robert Muggah, “This is the year we must act”, Opinion, *The Japan Times*, 7 January, 2019 より抜粋。